

第6回図書館利用教育実践セミナー報告書

情報検索指導法の研修に高まるニーズ

満員札止め、熱気と満足、もっと関西で開催を！

日本図書館協会図書館利用教育委員会

【0】概要

演題：情報検索指導における良い例題・悪い例題 《初級編》～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～

講師：仁上幸治（早稲田大学図書館）

日時：2006年3月18日(土) 10:00-12:10

会場：キャンパスプラザ京都

参加者数：154名

日本図書館協会図書館利用教育委員会は、3月18日(土)、キャンパスプラザ京都において、第6回図書館利用教育実践セミナーを開催した。今回は、「情報検索指導における良い例題・悪い例題《初級編》～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」と題し、仁上幸治氏（早稲田大学図書館）が第5回のセミナーの内容を改訂した講演を行った。

講演では、図書館による講演会や授業の中で情報検索に関する基礎知識を利用者に理解してもらうための例題の実例を紹介し、良い点・悪い点をビジュアルに解説しながら、13の提案（『図書館雑誌』2005年7月号 p.422-423 を参照）を行い、例題は聞く人の気持ちで作ることが大切であると指摘した。具体的には、専門知識の噛み砕き力、わかりやすい説明の技術、文字と画像の表現力、ビジュアル表現のセンス、初心者の内面への想像力などが求められると指摘した。

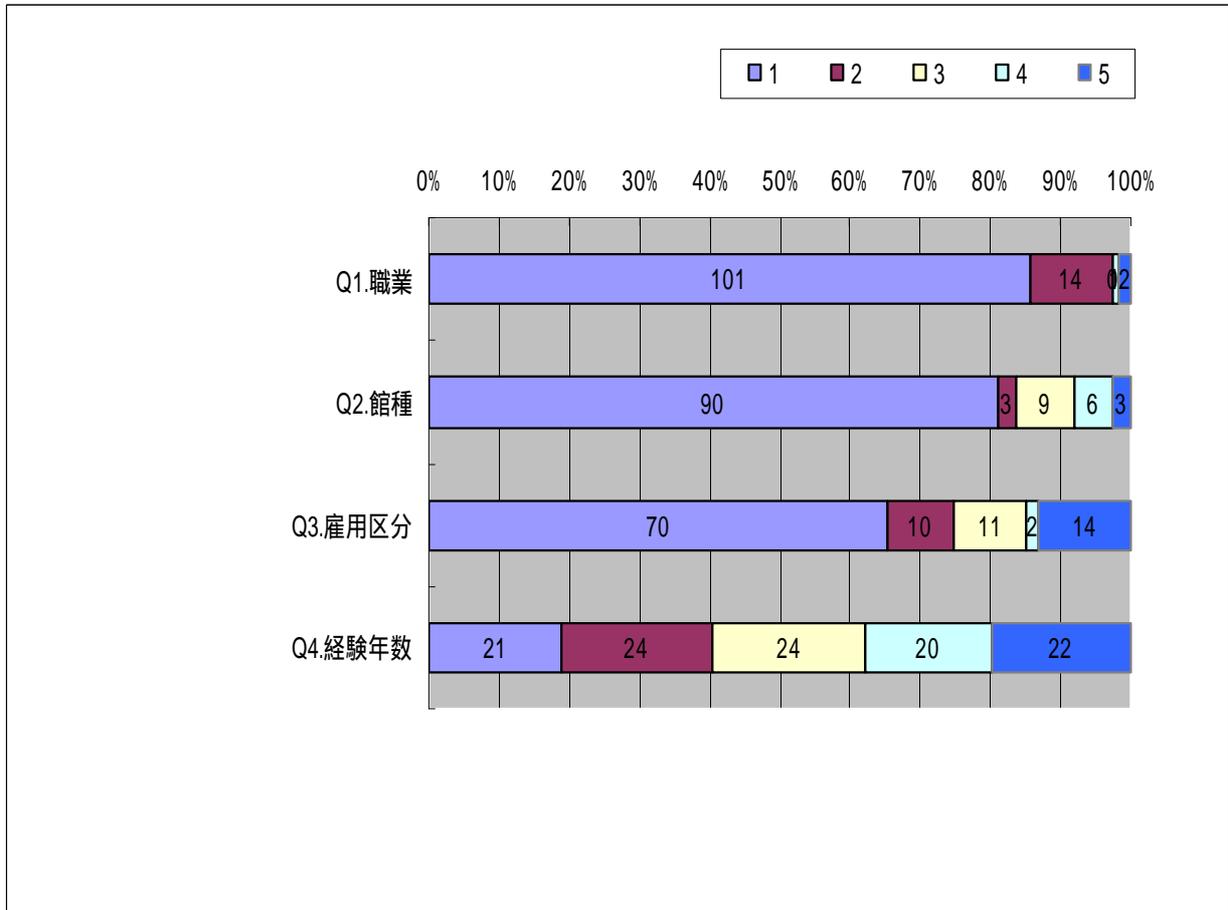
さらに今後の展望として、ホームページやメーリングリストを活用した、例題モニターネットワークと例題バンクの立ち上げを提案した。講演後には、質疑応答が活発に行われた。

このセミナーには、大学、短大、公共、学校、専門図書館の職員、大学教員など154名が参加した。今回は、大学図書館員を中心に各館種の図書館員、教員等154名が参加し会場は満員となった。非正規職員が図書館員の3分の1を占めた点が注目される。

アンケートでは、セミナーに参加して大変良かったという回答が全体の79%を占めた。講演の感想としては、「目からウロコ」「本当に来てよかった」「とても楽しく密度が濃い」「最近参加したセミナーでもっとも有用な内容」「視覚の大切さを実感」「中・上級編もぜひ」「もっと関西で開催を」などの意見がよせられた。（『図書館雑誌』2006年5月号）

【1】参加者データ

- 1)ご職業[a)図書館職員 b)教員 c)学生 d)会社員 e)その他] 以下(2)-(4)は図書館職員の場合のみ
 2)館種 [a)大学図書館 b)短大図書館 c)公共図書館 d)学校図書館 e)専門図書館 f)その他の図書館
 3)図書館での雇用区分 [a)専任 b)嘱託 c)派遣 d)臨時 e)委託 f)その他]
 4)図書館勤務経験[a)1～3年 b)4～5年 c)6～10年 d)11～20年 e)21年以上]



【2】評価結果

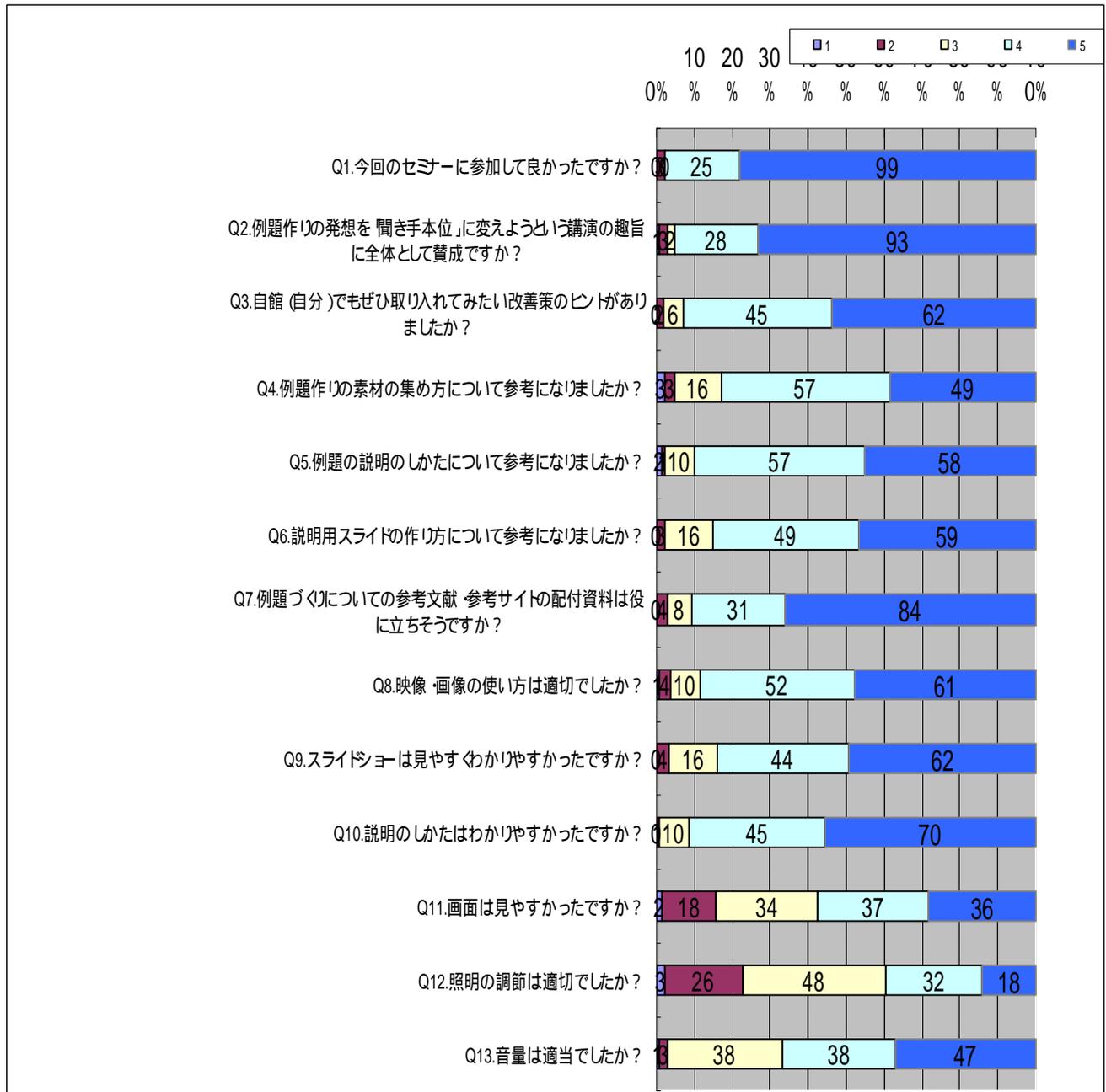
(-) 5段階評価 (+) 近いものをひとつで囲む

全然 あまり 普通 やや 大変

最悪 悪 普通 良 最良

1 2 3 4 5

グラフ中の数字は評価点別の回答者数



【3】前回との比較

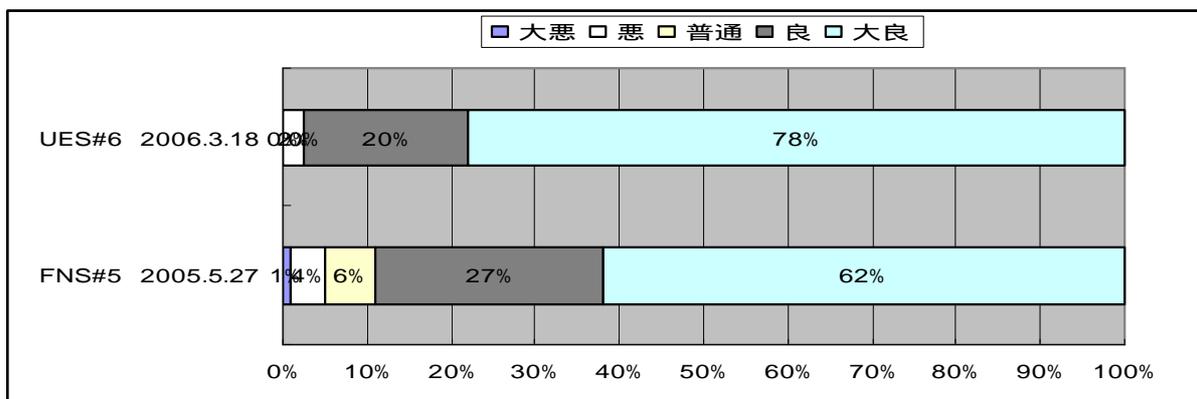
(1) 総合満足度の人数と比率の表

Q1. 今回のセミナーに参加して良かったですか？

人数	大悪	悪	普通	良	大良	合計
今回 UES#6 2006.3.18	0	3	0	25	99	127
前回 FNS#5 2005.5.27	1	3	5	21	48	78

比率	大悪	悪	普通	良	大良	合計
今回 UES#6 2006.3.18	0%	2%	0%	20%	78%	100%
前回 FNS#5 2005.5.27	1%	4%	6%	27%	62%	100%

(2) 総合満足度の人数比率の比較(前回と今回)



(3) 分析

- 1) 前回(FNS#5 2005.5.27)は、「普通」6%、「良い」27%、「大変良い」62%だったが、今回(UES#6 2006.3.18)は、「普通」0%、「良い」20%、「大変良い」78%となった。
- 2) 「大変良い」は、前回62%から今回78%と16%向上。「良い」と「大変良い」の合計は、前回89%から今回98%と9%向上。逆に見ると、「大変悪い」「悪い」「普通」の合計は、11%から2%に低下。
- 3) 前回のアンケート等で指摘された反省点を今回に活かして、内容、スライドなどを修正したことがある程度効果があった(らしい)。
- 4) 演題に「初級」を追加、口上も「これから始めようとする人」向けのメッセージに差し替えた。
- 5) Amazonの「郡」の例など、端的な検索語の最短化の例を入れた。
- 6) 医中誌WebからPubMed、JStage、版元ホームページ、OPACまでを一誌でたどる例を入れた。
- 7) 途中で、各種の言い訳をちりばめた。(笑)
- 8) 時間切れのため、スライド全366枚を縮小表示で見せておいて省略した結果、「全部見たかった」「続編を開催して」という感想を引き出せた。結果的に次回への期待感を残す演出に。
- 9) スライドは90分間に平均1分に4枚。1枚15秒というペース。オンラインで手間どるよりも、静止画のスライドでスピーディに解説していく方法が有効であることがわかった。